

平成27年度瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会

(ステップアップ事業・事前審査) 議事録

日 時：平成28年3月17日 午後6時30分から7時5分

場 所：瑞浪市消防防災センター 1階研修室

出席委員：渡邊 勝利 (委員長)、田中 恵子 (副委員長)、佐々木 浩美、
鈴木 芳子、佐藤 俊幸、奥村 了

欠席委員：なし

※ 委員6名中6名の出席であり、委員の過半数の出席となり、瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会設置要綱第6条第2項の規定により、本会議は成立。

事務局：瑞 浪 市 長 水野 光二
まちづくり推進部長 加藤 誠二
市民協働課長 鈴木 創造
まちづくり支援係長 横井 宏之
まちづくり支援係 隅田 一弘

日 程：

1. あいさつ (瑞浪市長)
2. 議事
 - (1) 夢づくり地域交付金の申請状況について (事務局説明)
 - (2) 事前審査の方法について (事務局説明)
 - (3) 交付金事業の審査
3. 意見交換
4. 事務連絡

【日程1 あいさつ（瑞浪市長）】

本日の夢づくり地域交付金等事業審査会へのご出席誠にありがとうございます。

本日は、ステップアップ事業が1事業、市民活動補助金事業が5事業あります。審査会委員におかれましては、慎重なご審議をお願いします。

市は、平成27年7月にまちづくり基本条例を施行しました。当市は既に、多くの市民の方が地域の課題解消のために、自らが取り組まなければならないという高い意識のもと、各地域でまちづくり推進組織が設立されています。本条例は、その活動における原則や位置付け等、また、まちづくりにおける市民、議会、行政の役割と責務を明文化したものです。今後、1つのルールのもと市のまちづくりを展開していくこととなります。

まちづくりの大きな課題は、人の確保、人材育成、まちづくりの企画力であると考えます。まちづくり推進組織は長いものでは、30年を迎えるものもあります。

平成27年度に創設した夢づくりチャレンジ研究室では、若者がまちづくりを企画し、まちづくり推進組織に対して事業提案し、良いものは一緒に実行していこうというものであり、現在13名の研究員が秋の発表会に向けて活動しているところです。この活動を通じて、将来のみずなみを担う人材へと成長することに期待しています。

また、集落支援員制度の導入により、ある部分では、まちづくりの企画運営といった中心的な役割を果たす者として地域に支援員を配置しました。

さらに、旧保健センター施設を、皆様の交流、情報交換の場等、まちづくりの拠点となる施設へと大規模改修しました。

平成28年度も皆様のご尽力をいただきながら瑞浪市のまちづくりを進めていきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

【日程2 議事1】

《夢づくり地域交付金の申請状況について事務局より説明》

～意見なし～

《事前審査の方法について事務局より説明》

～意見なし～

《交付金事業の審査》

「天神窯周辺整備事業」（日吉町まちづくり推進協議会）

【日程3 意見交換】

「天神窯周辺整備事業」についての意見交換

日吉町まちづくり推進協議会（以下「日吉」）

○委員

昨年の天神窯まつりに参加させていただき、多くの方が参加されていたことに驚きました。地域の方が一つになって活動していることは素晴らしいことであると感じています。

施設の整備後の管理面についてはどのように考えていますか。

○日吉

昨年、ピザ窯は7団体100名程が利用され、1回2,000円で貸しています。管理は、まちづくり推進協議会の焼き物制作委員会が行っています。また、公民館とも連携を取りながら整備等を行っており、東屋やバーベキュー施設等も同様に管理していきたいと考えています。

○委員

学校との里山体験として、施設を活用する旨がありますが、学校との計画はどこまで進んでいるのですか。

○日吉

5月1日に天神窯まつりを開催します。その際に、瑞陵中学校の吹奏楽部に参加してもらうことになっています。その際、親、先生等関係者の参加も期待でき、施設をPRしていきたいと考えています。

○委員

今回の事業の中には、バーベキュー施設の整備もあり、日吉町は椎茸を特産品とされており、今後の特産品の販路拡大について、何か計画はありますか。

○日吉

具体的な計画というより、椎茸と施設を使用したイベント等を第1弾、第2段と行っていくことにより、PRしていきたいです。

○委員

実際施設に行ったことがあります。道中、案内看板等がしっかり整備されていると
なお良いと感じています。

○日吉

しっかりとした案内看板を用意したいです。

○委員

天狗塚の展望台は、仮に1人で行った場合、熊や猪の遭遇はあるのですか。

○日吉

ないとは言えません。しかし、確実な対策はなく、今後安全面をしっかりと考えていく必要があると考えます。

○委員

年々施設への来訪者が増えています。特に子ども連れの方が多く、今後も多くの来訪

があるように維持管理、PRをしっかりとっていただきたいです。

【日程4 事務連絡】

《事務局より事務連絡など》